

市報 **おぢや** 2006.9月号

第831号



飛び入り参加

—おぢやまつり東小千谷会場—

2006おぢやまつり 2~5
胃がん予防 6~7
中学生5人の広島体験記 8~9

利雪・遊雪・克雪フェア 12
お知らせ(健康) 14~15
お知らせ 16~19



2006おぢやまつり

おぢやまつりが8月18日(金)から20日(日)まで行われ、恒例の「からくり万灯」や「こいこい万灯」、「万灯みこし」が登場したほか、19日(土)の花火大会では市民総参加超ワイドスピアス大スターメインなど豪華な花火が大勢の観客を魅了しました。



本町おまつり広場で踊る若者たち



集中力が勝負！射的ゲームに熱中



市民総参加の超ワイドペスピアス大スターメイン



信濃川を彩る20号



ナイヤガラ瀑布とスターメイン

豪華万灯がそれぞれの出来映えを競い合う本町の万灯ふれあい広場





星のカービィー
(千谷川町内会)



しましまとらの「しまじろう」
(元中子町内会)



おでんくん
(船岡町内会)



ケロロ軍曹
(越後おぢや農業協同組合)



カワウソラブちゃんのイナバウアー
(東栄町内会)



ミニーロボ
(上ノ山町内会)



みんなで育てよう。げんきが一番！
「たまごっち」(小千谷市職員互助会)



平沢こいこい万灯
(平沢町内会・引き万灯)



連獅子
(本町・引万灯)



スヌーピー
(旭町町内会)



火焰太鼓
(千谷町内会・引き万灯)



火盗改方長谷川平蔵
(城内・引万灯)



ゆけ！ウルトラマンメビウス
(小千谷鉄工協同組合)



四社会
(万灯みこし)



平成トキ
(平成・引万灯)



ミニミニ万灯隊「キティちゃん」
(上片貝町内会)



夢人会
(万灯みこし)



こいこい万灯
(小千谷青年会議所・引万灯)



くまのプーさん
(勤労青少年ホーム)

胃がん予防



ここまで進んだ胃がん治療

魚沼地域胃集団検診協議会管理医師

中村忠夫医師

以前は小さいがんでも手術でした。最近では小さな胃がんは胃カメラで治療でき、入院も短く、痛みもなく大変楽な治療法です。

検診で見つかったがんの20%はこの治療法で治されています。毎年検診を受けます。

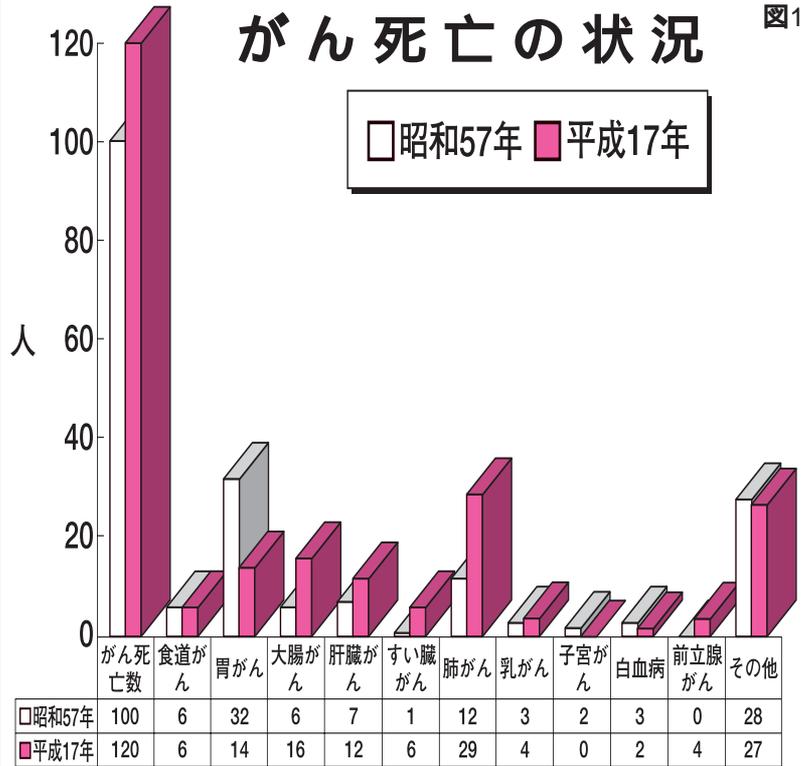
ることが小さながんを見つける最良の方法です。

レントゲン検査の利点は胃カメラのような苦痛はなく、一度に大勢の人を検査でき費用の無駄もありません。胃カメラの方がより小さながんを見つけやすいということがありますので、毎年胃のレントゲン検診を受け、5年に1回くらい胃カメラを受けると、より効果的です。

肺がんの主な原因がタバコによることはご存知だと思います。しかし、タバコは肺だけでなく喉頭がん、食道がんなど様々ながんの危険因子です。タバコが無くなるだけでがん死亡は半減すると思われず。検診とともにタバコによる害を減らし、いろいろなるものをバランス良く食べる食習慣を心がけましょう。

がん死亡の状況

図1



9月ががん征圧月間です。今回は胃がん予防について、医師、魚沼地域胃集団検診協議会診療放射線技師、市の胃検診で胃がんが見つかった方、がん予防の講習会を開催している保健推進員の方にそれぞれの立場からのメッセージをいただきました。

小千谷市の死亡原因最多はがん

当市の死亡原因の1位はがんです。がん死亡の総数はここ20年さほど変化はありません。胃がん死亡は検診などの効果で1/3に減少していますが、手遅れの胃がん死亡があること、胃がん患者の増加などその対策は重要です。(図1)

震災による心身のストレスに注意

震災による心身のストレスの持続は免疫力を低下させ、がん発生のリスクを上げます。検診は自分の幸せのためであり、家族への責任でもあります。検診を希望する方でまだ申込をしていない方は健康センターへ☎83・3640

検診で早期の発見

40歳になったら家族で検診

魚沼地域胃集団検診協議会診療放射線技師



私たちが行っているバリウム検診の方法はバリウムを胃の壁にくっつけ、向きを変えて8枚撮影し、胃の表面の細かな模様の中にがんを探す検査です。

がんや胃潰瘍になると小さなくぼみや傷ができます。より小さながんを見つげるため体を右、左と変えて撮

影します。また、進行がんを見落とさないためには、胃のしわを伸ばす必要があり「げっぷ」は我慢してもらいます。

検診における私たち技師の仕事は診断する医師に質の高い胃の写真を提供し、受診者の方の1年間の安心や病気の早期発見のお手伝いをするものです。バリウムは以前より飲みやすくなり、撮影機器も改良され写真の精度が良くなりました。

私たち技師はがん検診学会による胃がん検診専門技師として認定を受け、みなさんの胃がん予防のため勉強、努力を続けています。

市民のみなさんへお願いしたいことは、男性は女性の2〜3倍がんが発見されています。しかし検診を受けるのは60%が女性です。家族の誰が病気になるかも大変です。40歳以上の方は家族そろって検診を受けてください。

胃カメラでがんを切除

渡邊清光さん(小栗田)



私は市の胃検診で胃がんが発見され、胃カメラでがんを切除でき医学の進歩を実感しました。

胃がんの治療を受けて6年になります。毎年市の検

診を受けていたので早期発見でした。医師から胃がんと言われて驚き、兄弟を呼び寄せたり一大事でした。

悪い所は4センチほどでしたが、浅かったので胃カメラで2回に分けて取りました。入院中も痛くもなく元気でした。退院後はすぐ

元の生活に戻り、好きな晩酌も楽しめました。

退院してから半年後に検査し「異常なし」でしたので、それ以後また市の検診を受けています。胃を切らずに治すことができ、医学の進歩と検診のありがたさを実感しました。

保健推進員でがん予防の講演会を実施

渡邊ヨシさん(千谷川保健推進員)



千谷川の保健推進員として「がん予防」の講演会を実施しました。講演会を開催するにあたり、回覧を2回したり、ポスターを貼ったりして、人集めに力をい

れました。

その甲斐があつてたくさんの方々の参加がありました。そのうち働き盛りの世代が8割でした。講演会後アンケート結果では「検診の重要性がわかった」「食生活に気をつけたい」という声が多くありました。また、

「年1回はこういう健康の話が聞きたい」という声もありうれしく思いました。わが家では全員が検診を受けています。

これからも保健推進員として町内のみなさんに機会あるごとに検診を勧めたいと思います。



中学生非核平和推進研修報告

5人の広島体験記



未来へのメッセージ

小千谷中学校3年

涌井美優さん

被爆体験講話の講師の細川さんは17歳の時に被爆、その時投下された原爆によって最愛の妹を亡くされ、自分はもちろん親はとても悲しみ、笑いもなく生涯を終えたそうです。

今までは被爆体験や妹を失った悲しみには触れたくもなく、この事実を忘れたかった。しかし、被爆者は年々減っていきます。「人間は3発目の原爆が落とされてからではもう遅い、だから事実を後の人に伝えて行くことが大切だ」と、つらいはずなのにたくさん話をしてくださいました。

広島平和記念資料館、平和記念公園では一つ一つしっかりと自分の目で見てきました。一番心に残っているものは原爆で亡くなった子どもの遺品です。その遺品一つ一つに想いや物語がありました。子どもの遺品は「こんなことが二度とないように」という願いから親が市に寄贈したそうです。この研修の中で改めて原爆が投下された事実、これによってたくさんの方がいろんな想いで亡くなられたことを深く考えることができました。しっかりこの事実を受け止めて生きていきます。

小千谷市は平成4年6月23日に「非核平和都市宣言」を行い、毎年8月6日に開催される広島平和祈念式に中学生を派遣しています。

昨年度は中越大震災の影響もあり休止していましたが、今年度から再開し5人の中学生を広島市に派遣し、市民のみなさんから寄せられた千羽鶴を持って平和祈念式に参列してきました。そのほか、被爆体験者からの体験談や平和記念公園、資料館などを見学し、原爆の恐ろしさや平和の尊さについて体験してきました。

生徒が体験して感じてきたことを紹介しますので、改めて原爆の恐ろしさについて考えていただきたいと思います。



広島での研修

南中学校 3年

稲餅峻行さん

当時、学徒動員で12歳以上の体のいい人は働かされ細川さんは、爆心地から1,300メートルのところにあった広島逓信局という所で、電話線を作る仕事をや

らされていました。8月6日午前8時15分、青白い閃光とその後すぐにもすごい爆風に襲われ、体にはガラスが刺さり、自分の身の周りのものがゴミのようになっていたとおっしゃっていました。細川さんの講話を聞いて改めて「戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを知って他人事ではないということ、自分の住んでいるこの日本で実際にあったんだということ」を実感しました。

平和記念公園で自分たちが作った千羽鶴を捧げ、資料館を見学し、当時の広島の様子を表した模型・絵・写真などとても人間とは思えない様な写真もありましたが、本当にあった事なのでその場で深い悲しみに襲われました。この世界から核兵器を捨てて、戦争がなくなればいいと思います。



非核平和への歩み

東小千谷中学校 3年

星野英恵さん

被爆体験講話では当時17歳で被爆され、大切な妹を亡くされた細川さんのお話を聞き、「戦争を知らない私達の世代が原爆や戦争についての正しい知識を

持つことが平和な世界をつくっていくことではないか」と思いました。また、資料館では爆風で反り返ってしまった鉄の扉など、様々な資料を見ることで、原爆の威力、恐ろしさについて改めて学ぶことができました。なかでも、2歳で被爆し、その後原爆障害による白血病で亡くなった女の子の折った鶴を目にした時は、何の罪もない子どもたちが愚かな兵器の犠牲になったのだと思い、とても悲しくなりました。

平和な社会、核のない世界を実現するために必要なのは、一人ひとりが今の平和な社会について考え、世界に目を向けて行くことが大切だと思うのです。

「非核平和」などと聞くと難しい印象を受けますが、平和な毎日に感謝し、世界の国々について学んで行くことも立派な平和への歩みだと思います。



この研修に参加して

片貝中学校 3年

安部雄一郎さん

原子爆弾が広島、長崎に投下されてから今年で61年。被爆体験者の細川さんから当時のお話を聞きました。原爆が投下された時、細川さんは爆心地から

1,300メートル離れた会社の中で、柱の影だったため火傷はしませんでした。爆風で部屋の隅に叩きつけられ、全身にガラス片が突き刺さったそうです。最後に「戦争は国家的なテロです。その究極が原爆です」と言うのを聞いて原爆の恐ろしさを痛感しました。

資料館に展示されている写真はどれも衝撃的でしたし、驚いたのは、広島は原爆の威力を確かめる実験として使われたのではないかということです。広島は一度も攻撃されずに8月6日、広島市のど真ん中に原爆が投下されたことを聞いて戦争の残酷さを知りました。被爆体験者の平均年齢は73歳を超えています。この体験を無駄にしないためにも僕は戦争のない平和な世の中がどれだけ大切かということを多くの人に伝えて行こうと思います。



研修に参加して

千田中学校 3年

竹部綾香さん

被爆体験者の細川さんからお話を聞きました。細川さんは、妹を亡くした当時のつらい過去のことを話してくれたり、「これは他人事ではありません。お

ろかな人間は3発目が自分の所に落ちたとき気づきます。でもその時はもう遅いんです。だから広島のことを知ってほしいんです」と言っていました。私たちは二度と同じことを繰り返さないために、語り継いで行かなければならないと思いました。

私は広島で起きたことは他人事ではないと思います。でも、他人事のように思っている人はたくさんいます。被爆された方は平均年齢70歳を超え、減ってきています。次は私たちが語り継いで行かなければならないと思いました。

私はこの研修をきっかけに、平和についてきちんと考えることができ、平和の大切さについて学ぶこともできました。非核平和推進研修に参加できて、本当によかったです。



若栃秋まつり2006幻想のステージを演出

8月26日(土)若栃町内で「若栃秋祭り2006」が行われ第1部「山の中の音楽会」では地元芸能会の民謡や、ギター弾き語りや民芸太鼓、ファイヤーパフォーマンスなど演出が特設ステージ上で催されました。

第2部の奉納花火大会では目の前で打ちあがる迫力ある花火が夜空を彩るたびに歓声があがっていました。会場までの坂道には、若栃を題材にしたメッセージが描かれた灯籠が置かれ、幻想的な風景をつくり出していました。



魚沼神社で伝統の太々神楽が奉納

土川の魚沼神社の神楽殿で8月15日(火)・16日(水)の両日伝統の太々神楽が舞われました。

この太々神楽は昭和30年代から20年ほど途絶えましたが、昭和52年に復活し、魚沼神社太々神楽保存会のみなさんによって受け継がれています。

保存会では、約1カ月前から町内の小・中学生、高校生たちが集まり毎晩この日のために稽古を積んできました。猛暑の中伝統の衣装を付け出演者たちは、大勢の観客から拍手を浴びていました。



子ども元気フェスティバル

「子ども元気フェスティバル」が8月26日(土)上ノ山市営住宅遊園地で開催されました。

これは地震で大変な思いをした子どもたちの笑顔が見たいという思いから、NPO法人おぢや元気プロジェクトが行ったもので、今年で2回目になります。

集まった子どもたちは、ダンボール箱に思い思いの魚たちを貼り付けたり、ぶら下げたりして、世界にひとつだけの水族館づくりを楽しんでいました。お昼にはカレーライスが振舞われるなど子どもたちは楽しい1日を過ごしていました。



YMCA交流キャンプinおぢや

8月26日(土)から3日間市内の学童保育に通う児童と「かまくらYMCA」との交流キャンプが開催されました。

市内の学童保育とYMCAは震災時、ボランティアにきていただいた縁で交流を続けていて、市内からはおよそ70人の児童たちが参加しました。

西部開発センターや市民の家に宿泊しながらの2泊3日の日程の中で、レクリエーションやひまわり畑へのウォーキング、キャンプファイヤーなどの活動をおしてYMCAのリーダーや他の地区の児童たちと交流を深め、楽しそうに活動していました。



山本山は一面のひまわり

今年も山本山にひまわりが元気いっぱい咲きました。例年に比べ面積が大幅に広がり、およそ2ヘクタール、30万本のひまわりが山本山沢山ポケットパークに咲きました。

また、今年6月24日に東小千谷小学校の児童や保護者約100人が畑の一角7.5aにおよそ5万本分のひまわりの種蒔きをしました。ひまわりは8月中旬過ぎに見頃を迎え、休日には大勢の観光客で賑わっていました。

訪れた人は、「近くにこんな素晴らしいところがあるとは思いませんでした、何度も来てみたいですね」と喜んでいました。



池津でジャンボカボチャ大会

8月27日(日)今回で16回目となる池津ジャンボカボチャ大会が開かれました。

今年の大会は昨年を上回る205個の出品があり、出品総重量はなんと6495kgにものぼりました。

総合優勝には阿部林四郎さんが出品した119kgのカボチャが選ばれました。

阿部さんは「傘をつけたりして、雨があたらないよう気を付け、肥料をたっぷりくれてやる、まあ、うれしいですね」とカボチャづくりの苦労と喜びを話していました。



愛とヒューマンのコンサート

松本克巳さんのバイオリン、相馬泉美さんのピアノによる「愛とヒューマンのコンサート」が8月26日(土)市民会館大ホールで開催されました。

このコンサートは震災からの復興支援演奏会として中越大震災においても県内各地で行われており、当市では昨年1月に続く2回目のコンサートとなりました。「夏の思い出」を観客と一緒に歌うなど、松本さんの気さくな人柄が感じられる演奏会で、集まった大勢の観客はバイオリンの素晴らしい音色とピアノの響きに心を和ませているようでした。



雪のステージで行われた小千谷中学校・東小千谷中学校合同演奏会



8月19日(土)サンプラザ駐車場で第22回利雪・遊雪・克雪フェアが開催されました。

おなじみになった雪山宝さがしゲームでは、照りつける日差しの中、子どもたちは楽しそうに雪山をかけたのぼっていました。

会場内には利雪、克雪に関連した様々な団体のブースが設置され、新潟大学災害復興科学センターのブースでは雪崩の模擬実験装置やペットボトルを工作して地震時の液状化現象をわかりやすく学べる「エッキー」の展示などもありました。



ペットボトルを工作して地震時の液状化現象をわかりやすく学べる「エッキー」

雪を有効に使おう！
第22回利雪・遊雪・克雪フェア

震災復興祈念片貝シンポジウム 櫻井よしこさん講演



ジャーナリスト櫻井よしこさんを迎えての震災復興祈念片貝シンポジウムが9月1日(金)片貝総合センターで開催されました。

「今、日本が直面する内外の課題」と題しての講演では、現在の政治情勢や歴史問題、外交など幅広い分野の話題を交えながら、「今、アジアでは日本に大きな期待が寄せられている、新潟人の粘り強さ、誠実さを発揮して日本を良い国にしていきましょう」と力強く訴えました。会場は立ち見が出るほど大勢の人が詰めかける盛況ぶりでした。

ふれあいネットワーク東山 自治宝くじ助成事業で備品購入



8月20日(日)に行われたおぢやまつりの金倉山音頭で使った祭り用の樽や用具は、自治宝くじ助成事業で購入されました。また、このほか会議用机やイス、木工工具やコピー機などもこの事業で揃えられ、団体のイベントで活用されます。

おぢや 文化財散歩14

県指定文化財

もくじきしょうにんさくさんじゅうさんかんのん

「木喰上人作三十三観音他二像」

小千谷市の北東部、山間の小栗山地区に観音像を安置した観音堂が、緑に囲まれ静かに建っています。

享和3年（1803）、86歳にして2回目の越後巡礼に来ていた木喰上人は、小栗山出身で長岡蔵王代官の広井氏の懇請により小栗山を訪れました。折りしも小栗山では焼失した観音堂を再建したところで、木喰上人によりその観音堂に安置する仏として35体が彫刻されました。原材料は銀杏の木で、地域住民が総出で運び上げた巨木であったと伝えられています。

木喰上人の作品は、一般的には微笑仏として愛されているように、そのふくよかな頬、団子鼻、山なりに曲がる太い眉、大きく弧をえがく目、深い笑みをたたえている口元などで、他の仏像彫刻に見られない特徴があります。昭和43年に県文化財に指定され、町内の皆さんにより大切な文化財として管理されています。

これほどまとまって木喰観音像が残っていることは珍しく、東京国立博物館の特別展に10月上旬から12月上旬まで、国内の国宝級の仏像とともに展示される予定です。

小千谷市教育委員会



作ってね！ この料理

ヨーグルトサラダ

材料（4人分）

さつまいも180g、レモン汁小さじ1、リンゴ150g、レーズン15g、プレーンヨーグルト100g、砂糖小さじ1、パセリ少々

作り方

さつまいもは厚めのいちょう切りにし、アクを抜く。
を蒸し、レモン汁をふりかけておく。
リンゴはいちょう切り、レーズンは水洗いし水を切っておく。

調味料を合わせ、パセリのみじん切りを混ぜる。

栄養価（1人分）

エネルギー108kcal、たんぱく質1.6g、脂質0.9g

（調理：小千谷市食生活改善推進委員）



乳幼児健診、予防接種の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。
番号札配布開始時間 午前中に開催の場合 = 午前8時30分～、午後で開催の場合 = 正午～

うぶごえ教室

日時 / 10月18日(水)午前9時～12時
対象 / 妊婦、1歳未満のこどもの母親など
会場 / 健康センター
内容 / 母乳育児と妊娠中、産後の過ごし方などについて料理実習、会食交流会
持ち物 / 母子健康手帳、エプロン、三角布 / お子さんの離乳食無料
申込 / 10月13日(金)まで。お子さん、ご夫婦一緒でも参加できます。



心の健康相談

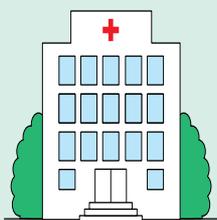
心が沈みがち、元気が出ない、眠れない、アルコール依存、家庭内暴力などでお困りの方の相談を精神科医師がお受けします。
日時 / 10月6日(金)午後1時30分～3時
会場 / 健康センター
申込締切 / 10月5日(木)

AAグループミーティング

アルコール依存を正しく理解し、互いに話し合うことで断酒継続をしています。
対象者 / アルコール依存やお酒で体調をこわしている方、家族、友人
日時 / 毎週水・金曜日 午後7時30分～午後9時
会場 / 健康センター

献血バスゆうあい号

みなさんのご協力をお願いします。
全血献血
期日 / 10月25日(水)
時間・会場 /
午前9時30分～午後3時30分、
エヌエスアドバンテック(株)



結核予防週間

結核は過去の病気ではありません。

期間 / 9月24日(日)～30日(土)
結核の初期症状 / せきが2週間以上続く、タンに血が混ざる、倦怠感が長く続く、微熱が続くなどの症状があるときには医療機関を受診しましょう。

乳幼児の健康診査

会場は健康センターです

4か月児健康診査

日時 / 10月2日(月)午後1時～1時10分受付
対象 / 平成18年5月生まれ
持ち物 / バスタオル、母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食講習会を同時実施

10か月児健康診査

日時 / 10月3日(火)午後1時～1時10分受付
対象 / 平成17年11月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食後期の講習会を同時実施



1歳6か月児健康診査

日時 / 10月5日(木)午後1時～1時20分受付
対象 / 平成17年3月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳
その他 / 歯科検診を同時に行いますので、歯をみがいて来てください。

2歳児歯科検診

日時 / 10月26日(木)午前9時～9時10分受付
対象 / 平成16年9月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、お子さんのハブラシ
その他 / 幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導があります。歯をみがいて来てください。

3歳児健康診査

日時 / 10月25日(水)午後1時～1時20分受付
対象 / 平成15年9月生まれ
持ち物 / 目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、母子健康手帳
その他 / 尿検査、歯科検診も同時に行います。
歯をみがいて来てください。また会場で採尿に
くいお子さんは、清潔な容器に尿を入れてお持ち
ください。



*発熱など、普段と違う症状のあるお子さんは、翌月の健診日においでください。

健康 の情報



10月の予定

総合健診日程表

対象地区	月日	受付時間	会場
東小千谷・横浦・東山	10.11(水)	8:00~10:30	東小千谷体育センター
	10.12(木)		
全町内(東小千谷・浦柄・東山を除く)	10.13(金)		総合体育館
	10.16(月)		
	10.17(火)		
	10.18(水)		
	10.19(木)		
10.20(金)			

総合健診

「忙しくて休めない。でも、体は気になる・・・」
こんな方に、午前中で受けられる総合健診をお勧めします。

検診項目 / 胸部レントゲン検査 基本健康診査
胃検診 大腸がん検診(原則として4つの検診
をすべて受けていただきます。)

対象年齢 / 40~69歳

料金 / 1,700円

申込 / 2月の住民健診調査時に申しこまれた方には、後日個人通知します。申込みをしていない方で健診を希望される方は、健康センターまで連絡ください。

胃集団検診日程表(申込数により受付時間を変更する場合あり)

対象	月日	受付時間	会場
時水、藪川、両新田、若葉2,3丁目	10.1(日)	8:45~11:00	城山開発センター
二俣、迹入	10.2(月)	9:00~10:30	二俣公民館
藤生、横渡	10.23(月)	8:30~11:00	藤生集落センター
谷内、上村、打越、水口	10.27(金)	8:30~11:00	吉谷トレーニングセンター
桜町(上)(中)(下)	10.30(月)	8:30~11:00	西部開発センター

対象 / 40歳以上の方

料金 / 1,000円(70歳以上の方は無料)

大腸がん検診を希望する方は、胃検診会場でお申込ください。容器を配布します。

各種検診のご案内

指定された日時、会場で受診できない方は、都合のよい会場で受けてください。

子宮頸がん検診・乳がん検診日程表

(40歳以上同時実施、20~38歳子宮がん検診のみ実施)

月日	受付時間	会場
10.2(月)	13:00~13:10	小千谷総合病院
10.16(月)	14:00~14:10	
10.23(月)	子宮がんのみ受診される方は、14:00~14:10受付	
10.30(月)		
10.2(月)	13:30~13:45	魚沼病院
10.6(金)	14:15~14:30	
10.13(金)	子宮がんのみ受診される方は、月曜日14:00~14:15受付	
10.16(月)		
10.20(金)		
10.23(月)		
10.27(金)		
10.30(月)		

必ず個人通知が届いてから受診してください。

指定された日が、ご都合の悪い場合は、受診日を変更してください。

乳がん検診は、今までより時間がかかります。

子宮頸がん検診

対象 / 20歳以上の女性で、今年度末までに偶数年齢になる方(隔年検診)

料金 / 1,000円、70歳以上は無料

乳がん検診(マンモグラフィ・視触診併用検診)

対象 / 40歳以上の女性で今年度末までに偶数年齢になる方(隔年検診)

料金 /

40~48歳 1,400円(X線写真を4枚撮影)

50~68歳 1,000円(X線写真を2枚撮影)

70歳以上無料

その他 / 対象年齢で、申し込みをされていない方、検診を希望

される方は、健康センターへご連絡ください。

(11~12月の予定)



介護・福祉施設見学者募集

高齢福祉課 ☎83-4060

「おぢや健康福祉まつり」の企画の一つとして施設見学を行います。



介護や福祉への関心を深めていただくために、現場で働く職員のお話を聞くものです。

今回見学する施設は、平成18年にオープンしたものです。

日時 / 10月8日(日)

午前10時～午後0時30分

午後1時30分～午後4時(各1回)

集合場所 / 総合体育館

参加対象 / 市民で介護・福祉施設の利用や施設・仕事に関心のある方見学先 /

「おぢやさくら」

短期・長期入所施設 小栗田地内

「中子の森」

通所介護 元中子地内

「ひうの家」

小規模多機能居宅介護 元中子地内

「ひよしの家」

小規模多機能居宅介護 日吉地内

「グループホームほのぼの」

認知症対応共同生活介護 川井本田地内

募集定員 / 午前、午後各20人

参加費 / 無料

申込 / 午前、午後どちらかを選択し、10月4日(水)までに電話でお申し込みください。定員になり次第締め切ります。

パスポートの取扱窓口が変わります

10月1日から市民生活課で申請受付

10月1日から、小千谷市に住民登録のある方のパスポートの申請受付は市民生活課で行います。

9月29日(金)までの申請→県のサービスセンターなどで今まで通り受付します。

10月1日以降の申請→県の窓口では受付できません。市役所市民生活課で申請をしてください。

パスポート用の写真は市役所内で撮影できません。写真専門店などでご用意ください。

問い合わせ / 市民生活課 ☎83-3509



保育ヘルパーのグループ作りをめざす

保育ヘルパーセミナー参加者を募集

保育ヘルパーのグループ作りをめざすセミナーを開催します。

保育ヘルパーとは市の講演会などを開催する際に小さなお子さんを預かる保育ルームでお手伝いをいただく方です。

保育サポーターやファミリー・サポート・センターの講習を受けた方、子どもの保育に関心のある方の参加も歓迎します。

対象 / 保育ヘルパーとして活動できる方、または今後参加したいと思っている方。

日時 / 10月23日(月) 午前9時30分～午後3時30分

10月24日(火) 午前9時30分～午後3時30分

10月30日(月) 午前9時30分～正午

会場 / 子育て支援センター「わんパーク」

定員 / 30人

締切り / 10月10日(火)

内容 / 保育ヘルパーの役割と必要性、子どもとの遊び方や接し方など

申込・問い合わせ / 子育て支援センター「わんパーク」☎81-7564

または健康福祉課☎83-3517まで

保育ルームを設置します。定員10人、保育協力金1回400円



☎83・3509
問い合わせ / 市民生活課

交通事故による衝撃は、運転席も後部座席も全く同じです。後部座席は前方の状況が分からず、無防備な状態でエアバックもほとんどありません。後部座席の人もしートベルトを着用し、車外放出から身を守りましょう。



秋の全国交通安全運動
スローガン
「秋の道 早めのライトで安全運転」
運動の重点
高齢者の交通事故防止
夕暮れ時と夜間の歩行者・自転車乗用中の交通事故防止
後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
交通指導所 / 9月21日(木) 午前10時から 若葉地内
9月は「シートベルト着用」強調月間です！

第26回小千谷市展作品募集

公民館 82-9111

11月3日(祝)～5日(日)まで、市民体育館で開催される市展の作品を募集します。

応募資格 / 高校生以上

出品料 / 1,000円(部門ごと)

応募規定 /

第1部: 日本画 = 20号以上50号以内

第2部: 水墨画 = 10号以上50号以内

第3部: 洋画 = 20号以上50号以内

(116.7cm x 90.9cm)以内、額装に限る(寸法は内のり) 版画 = 常識以上の大きさを超えないこと。

第4部: 書道 = 全紙1 / 4つぎ以内、額装・パネル・軸装(86cm x 205cm)以内、釈文票を添付のこと

第5部: 写真 = 半切から全倍まで、組写真については73cm x 103cm以内

第6部: ○彫塑 = 常識以上の大きさを超えないこと

○工芸 = 染、織、陶芸、つる、漆、革、木、竹、紙などによる工芸・人形など

作品 / 公募展に出品した作品は、出品できません。1部門3点以内。額装にガラスは使用しないでください。額装・つりひもはしっかりとしてください。

搬入受付 / 10月27日(金)の午後1時～7時までに、出品申込書に出品料を添えて、市民体育館へ搬入してください。

開催要項と出品申込書・釈文票は、市民会館・勤労青少年ホーム・片貝支所・各連絡所にあります。

審査員 / 日本画 = 関登美恵(魚沼市)

洋画 = 山本安雄(南魚沼市)

水墨画 = 浅井菁亭(新潟市)

書道 = 丹羽芝水(長岡市)

写真 = 羽賀康夫(新潟市)

彫塑・工芸 = 大滝源一(村上市) (敬称略)

表彰 / 市長賞と新潟日報美術振興賞・奨励賞には賞状と賞牌を、佳作には賞状を11月3日の表彰式で授与します。



おぢや稲刈り体験ツアー募集

農林課農都共生室 ☎83-8510

「おぢや稲刈り体験ツアー」を9月30日(土)・10月1日(日)に池ヶ原で開催します。



都会からもたくさんの方が参加します。都会の人たちとの交流、収穫の喜びを体験して心も体もリフレッシュしませんか。

稲刈り体験コース(1日目)

期日 / 9月30日(土)

集合場所 / デイホームらくらく

(旧池ヶ原保育園)

午後1時15分集合

参加費 / 小学生以上1,500円

(収穫したお米を1家族2kg送ります)

いも掘り体験コース(2日目)

期日 / 10月1日(日)

集合場所 / 雪蔵の里

午前8時集合

参加費 / 小学生以上1,500円

(朝食餅つき代、昼食代を含む・掘ったいもはお持ち帰りできます)

申込 / 9月25日(金)までに 農都共生推進室へ

(両日の参加もできます)

問い合わせ / 農都共生推進室

卒業生の住所・電話番号を聞き出す不審電話に注意

学校事務職員など名乗って市内の高校の同窓生名簿を作るなどと言って、卒業生の住所、進学先(就職先)、電話番号などを聞きだそうとする不審電話がかかっています。

市内の高校ではこのような電話をすることはありませんので、不審に思われた方は、高校までお問い合わせください。

動物愛護週間魚沼地区動物フェスティバル開催

9月20日～26日の動物愛護週間に動物フェスティバルが開催されます。

日時 / 9月24日(日)午前11時15分～午後3時

会場 / 十日町市珠川「ペルナテイオ特設芝生広場」

主な催し物 /

・動物愛護功労者等表彰式・純粋犬の紹介・警察犬、災害救助犬の模範演技・スポーツドッグ紹介・ポニの乗馬体験・グルーミング教室・動物ふれあい広場

問い合わせ / 魚沼地域振興局健康福祉部 魚沼動物

保護管理センター ☎025・792・8621

お年寄りの心の相談会

高齢福祉課 ☎83-0807

物忘れがひどい、やる気が出ないなどでお困りの方やその家族の相談を精神科医師が無料でお受けします。



日時 / 10月30日(月)午後 1時30分 ~ 3時30分
 会場 / 健康センター
 申込締切 / 10月27日(金)までに高齢福祉課へ

明るい東小千谷の集い

公民館東小千谷地区 ☎82-8510

東小千谷地区の公民館を中心として活動している団体の芸術、芸能を発表する第23回明るい東小千谷の集いが開催されます。



期日 / 9月23日(土)・24日(日)
 時間・会場 /

作品展示 = 23日・午後1時~7時、24日・午前9時~正午、勤労青少年ホーム

芸能発表 = 24日・午後6時~、東小千谷体育センター
 木津町、蕨生、横渡、浦柄方面の無料送迎バスの運行を予定しています。

平成18年10月から 国保と老人保健が改正

私たちの安心の基盤である皆保険制度を維持し将来にわたり持続可能なものとするため、医療制度の改正が行われます。

70歳以上の高齢者のうち、現役並み所得の方の自己負担割合が変わります。

《現行》2割負担

《平成18年10月以降》3割負担
 療養病床に入院する70歳以上の高齢者の負担が変わります。

介護保険との負担の均衡を図るために、食費、居住費の負担が引上げられます。(住民税非課税

世帯など低所得者の方は負担の減額があります)

○食費(食材料費、調理コスト相当を負担)

《現行》2万4千円 《平成18年10月以降》4万2千円

○居住費(光熱水費相当を負担) 1万円を新たに負担

ただし、入院医療の必要性の高い状態が継続する患者や回復期リハビリテーションを受ける患者は、現行どおりの負担となります。

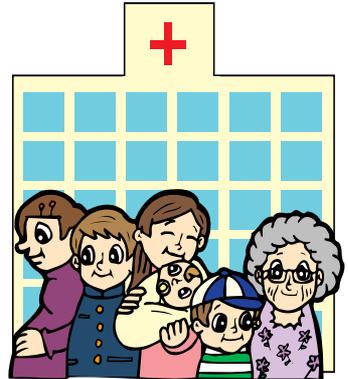
医療費が高額となった時の1カ月の自己負担限度額が変わります。

高額療養費(医療費)を算定する際の自己負担限度額(月額)が引上げられます。ただし、住民税非課税世帯など低所得者の方の自己負担限度額は据え置かれます。

人工透析を要する70歳未満の上位所得者(月収53万円以上)については自己負担限度額が1万円から2万円に引上げられます。

税制改正で、平成18年8月からこれまで非課税者であった方が新たに課税者となった世帯の70歳以上の方は、経過措置(低所得区分の適用)があります。詳しくはお問い合わせください。

問合わせ / 市民生活課保険年金係 ☎83-3509



住宅用地に対する課税標準の特例

住宅用地(住宅の敷地として使用されている宅地)は、固定資産税・都市計画税の課税標準の特例(以下、特例という)が適用され、減額して課税しています。

しかし、住宅の取壊しなどにより住宅用地以外の宅地(「更地」や「住宅以外の建物、構築物の敷地として使用されている宅地」となった場合は、翌年から特例の適用が外れます。



なお、中越大震災により住宅を取壊した場合は、震災発生後の2年度分(平成17・18年度)に限り住宅用地として取り扱われます。

この場合、平成19年度から特例の適用が外れますので、住宅を建築する予定がない方はお問い合わせください。

お問い合わせ / 税務課資産税係 ☎83・3508

お知らせ

Information

小千谷市役所 ☎83・3511(代)
http://www.city.ojiya.niigata.jp/

ちぢみの里の利用券が当たる

広報クイズ

解答をはがきでお送りください。
正解者の中から、抽選で3人に
ちぢみの里の利用券を贈呈します。
市報おぢやの感想もあると担当は
うれしいのですが...

問題 今年の片貝まつりでは2日間で四尺玉が2発打ち揚げられました。さて、三尺玉は何発打ち揚げられたでしょうか。



4発 6発 8発

(ヒントは8月25日号p6に...)

応募先 〒947-8501小千谷市役所総務課広報広聴係あて(住所不要)

締切 9月24日(当日消印有効)

8月号の答えは、ティラノサウルスでした。抽選の結果次の方が当選しました。

谷井伶子さん

人口と世帯数 (8月31日現在)

男	19,952人	16 出生	25人
女	20,389人	△14 死亡	23人
合計	40,341人	2 転入	83人
世帯数	12,369世帯	9 転出	83人

事故発生状況 (8月31日現在)

	18年8月まで	17年8月まで
件数	124件	160件
死者	1人	1人
傷者	164人	214人

消防本部出動状況 (8月31日現在)

	18年8月まで	17年8月まで
火災	14件	22件
救急	933件	1,042件

気象データ8月

	18年8月	過去10年の平均
平均気温	27.0℃	23.6℃
最高気温	38.3℃	33.2℃
最低気温	19.4℃	16.0℃
降水量月計	100.0mm	178.6mm

小千谷地域消防本部速報値

社会生活基本調査を実施

総務課 ☎83-3506

総務省統計局では、10月20日現在で7回目の社会生活基本調査を実施します。

この調査は、国民の生活時間の過ごし方や、インターネットの利用、学習・研究、ボランティア活動、スポーツ、趣味・娯楽、旅行・行楽など社会生活の実態を明らかにするものです。調査結果は各種行政施策の基礎資料として利用されます。



統計調査員が、10月上旬から中旬にかけて調査世帯をお訪ねして調査票の記入をお願いしますので、よろしくご協力ください。

調査対象 / 船岡1丁目、元中子、五辺の各一部

問い合わせ / 県統計課 ☎025-285-5511 内線2436

「道の駅」ちぢみの里おぢや 日本道路協会会長表彰を受賞

社団法人日本道路協会は、平成18年度「道路ふれあい月間」にあたり8月10日(木)に「道の駅」ちぢみの里おぢやに対し日本道路協会会長表彰を行いました。これは中越大地震のときに、住民への被災対応や防災・災害対応基地として施設が使用され、職員も支援活動に協力したことが認められたものです。

事業所・企業統計調査を実施

総務課 ☎83-3506

10月1日現在で、全ての事業所を対象に平成18年度事業所・企業統計調査が全国一斉に行われます。

集められた調査票は、統計上の目的以外に使用することは固く禁じられており、各事業所のプライバシーは、法律によって保護されます。

調査結果は、国、県、市のさまざまな施策や計画などを立案するための基礎資料として利用されます。

9月下旬、調査員が調査票に記入のお願いに、各事業所を訪問しますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ / 総務課文書統計係

農地の利用権設定受付開始

農林課 ☎83-3510

農家を対象に平成19年度から始まる品目横断的経営安定対策(米価が下落したときの補償など)で多くの申請が予想されることから、農地の利用権設定の受付を9月15日(金)から始めます。

また、認定農業者が借り手となる場合は一定の要件により助成金が出る制度もありますので、ご相談ください。米、大豆などの品目横断的経営安定対策の制度への加入申請は来年の4月から6月までの間に行うこととなります。

受付・問い合わせ / 農林課・農業委員会



市税等の納期限

10月2日(月)

市・県民税(3期)
国民健康保険税(9月分)
介護保険料(9月分)

☎82・2724
問い合わせ / 図書館
の部屋
会場 / 図書館1階おはなしの部屋
時 2時30分 10月15日
毎月第3日曜日 午後2時
日、31日 10月17日、24日
分 4時 午後3時30分
毎週火曜日
10月のおはなし会
ボランティアグループ



小千谷を描く No303 小千谷高校前通りにて（東栄）

おぢやまつりも終わって静かな街にかえりました。東小千谷の商店街の方でつくられた「お休み処なじだね」の一隅に私の東のスケッチの数点を飾ってもらいました。東小千谷は、今から幾数十年もの昔に高校生であった私が通学したところです。

特にこのスケッチのサクライ写真屋さんの前の道は下校時に、悪友たちとおアホなことなどを、お語りあそばせながら、お通りになったなつかしい所であります。

（絵と文は西脇正久さん）

表紙

8月18日(金)から3日間おぢやまつりが行われ、初日の東小千谷会場では子ども神輿、大民踊流し、よさこいなどが暑さに負けずに繰り上げられました。

さて、よさこいが始まると、列の脇に大人に負けず踊っている小さな女の子を見つけました。飛び入り参加にはなかなかの腕前に思わずカメラを向けてみました。

編集後記

消防署からの気象データを見ると、8月の最高気温は38.3度とものすごい数字でした。

猛暑の中でのおぢやまつり、取材をしていると、ある年配の方が「小千谷の若者のこのエネルギーは素晴らしい、小千谷の将来は明るい、大丈夫だ！」と語りかけるように話してくれました。

2006 9月

平成18年9月10日発行 831編集：小千谷市総務課
〒947-8501 小千谷市城内2-7-5

☎0258(83)3506
FAX 0258(83)2789